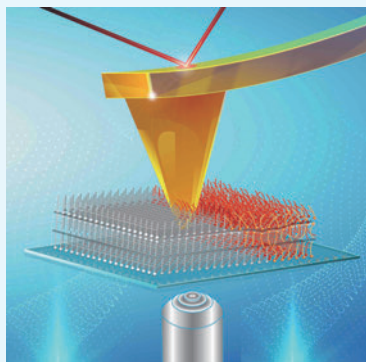


水分子とイオンによるメカノクロミック バイオセンサの感度制御



杉原 加織
東京大学
講師

ポリジアセチレンは押すと色が変わったり蛍光を発光したりするメカノクロミック材料です。ある特定の生体物質が付着することで色が変化するように選択性を持たせることもでき、バイオセンサの分野で注目を集めています。本研究では水分子の存在がこのメカノクロミック材料の感度をどのようにコントロールしているのかを、近年自身で開発したナノ摩擦顕微鏡を導入して説明します。



長期的にはメカノクロミック・バイオセンサの性能を向上し、自宅で簡易・安価に使用できるウィルス検査薬などを開発する意義があります。